

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	ANCA 関連腎炎における尿中免疫細胞解析と腎病理所見の比較検討
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2002～2018 年で、本学で経皮的腎生検及び尿中炎症細胞解析を同時期に施行した患者さん。
③ 概要	<p>ANCA（抗好中球細胞質抗体）関連血管炎は、腎臓を始めとする多臓器に障害を及ぼす原因不明の自己免疫性疾患です。50～60 歳以上の高齢者に好発し、かつては生命予後不良でしたが、ステロイド治療の導入、免疫抑制薬の併用などによりその生命予後は改善しました。</p> <p>当科では2001年以降より尿中炎症細胞解析をANCA関連血管炎に関連する腎炎（ANCA腎炎）が疑われる症例に施行しており、実際の病理所見に合わせ、尿中炎症細胞解析を同時に施行し、疾患の重症度評価に役立てております。</p> <p>今回我々は、2002～2018年までに当科で経皮的腎生検にてANCA関連腎炎と診断され、かつ腎生検と同時期に尿中炎症細胞解析を施行した36名について、尿中炎症細胞と腎臓の組織学的所見を比較し、重症度の相関性を比較することを目的としております。</p>
④ 申請番号	2018-0288
⑤ 研究の目的・意義	ANCA 関連腎炎における、腎病理所見と尿中炎症細胞解析の相関性を検討する。
⑥ 研究期間	倫理審査委員会承認日から2023年12月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴、血液検査結果、生理機能検査結果、腎生検結果を利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢、性別、身体所見、治療内容）、血液検査結果、生理機能検査結果、腎生検結果、組織学的診断情報等
⑨利用の範囲	新潟大学 腎膠原病内科
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 腎膠原病内科 教授 成田一衛
⑪お問い合わせ先	新潟大学科医局 大学院生 須藤真則 Tel : 025-227-2200 E-mail : n17b110j@mail.cc.niigata-u.ac.jp